



# 自衛隊栃木地方協力本部

## 入隊予定者と保護者の北宇都宮駐屯地部隊見学



「UH-60JA」見学



消防車見学及び防火服試着（航空管理班）

自衛隊には様々な職種があり、様々な選択肢があるという説明に参加者からは「表に出る部隊のみではなく給食業務等の裏方の仕事についての研修ができて職種選びの参考になった」との声があがった。また、体験喫食においては「初めて喫食ができて嬉しい！」「とてもおいしい！」との声が多数あがり、大変好評であった。見学会全般を通して、参加者からは「参加してよかった」「非常に参考になった」との声が聞かれ、自衛隊に対する理解促進や入隊意欲の向上に繋げることができた。



「UH60-JA」概要説明



体験喫食中

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 加藤 浩一陸佐）は、12月1日（日）、北宇都宮駐屯地において、入隊予定者とその保護者11名に対する部隊見学会を実施した。

まず始めに駐屯地の概要説明を受け、プールと体育館の施設見学を行いサウナ、トレーニング機器など充実した設備に参加者からは驚きの声が上がっていた。その後の多用途ヘリコプターUH-60JAや航空救難車見学では、実際に機体や車体に見て触れて、操縦席に乗るなど、迫力の装備品を間近で楽しんでいた。給食班においては給食業務の概要説明と食料品倉庫等の見学をした。

## 大空を縦横無尽に飛び回る航空機に大感激！ ～百里航空祭前日事前公開ツアー～



ブルーインパルスの編隊飛行



F-2とブルーインパルスの整列



C-130 前にて参加者と集合写真

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 加藤一陸佐）は、12月7日（土）栃木県内の入隊予定者等22名を引率し、百里航空祭前日事前公開ツアーに参加した。当日は、やや曇りながらも晴天に恵まれ、絶好の航空祭事前公開日和となり、参加者たちは「早朝にもかかわらず、皆明るく元気で今回のツアーを楽しみにしている様子」であった。

百里基地到着後、ものすごい轟音で縦横無尽に大空を飛び回るF-12の機動飛行を目の当たりにした参加者達は、皆「すごい！」「その迫力に驚いた様子」であった。大音量かつ軽妙なトークでパイロット紹介等を行う放送も好評で、F-12の轟音で聞き漏らさぬよう、皆一生懸命聞き耳を立てており、自衛隊の強いイメージが伝わった様子であった。F-12の機動飛行も終わり、震災復興祈念特別塗装のF-15や、駐機エリアに進入してくる巨大なC-130の写真を懸命に撮影していた頃、駐機エリアに展示中の別のF-12前で陣取っていた入隊予定者等は、AGG（空からの射撃）に向け準備しているパイロットと航空機整備員のエンジンスタート、キャノピークローズ、フリタク、チョークアウト等の手信号を、一挙手一投足を見逃すまいと、食い入るように見つめていたがF-12が動き出した途端、「うおー！動いている！」「近づいてきた。すごい！」「雄叫びにも似た歓声を上げ、大喜びしていた。迫力あるAGGも終了し、皆が楽しみにしていたお買い物タイムでは、財力の尽きるまで爆買いをする強者もいて、皆満足した様子であった。そして、待ちに待ったブルーインパルスの曲技飛行では、「すごい！」「大連発であった。」

最後に帰りのマイク行では、「すごい！」「かっこいい！」の大連発であった。今回参加した入隊予定者等から「本日に貴重な経験をさせてもらった。自衛隊の厳しい印象だけでなく、華やかで楽しい一面があることを知りました」等の感想をいただいた。

栃木地本は「今回の研修は、入隊予定者の意欲向上と、次年度以降の受験予定者の更なる理解促進を図る貴重な体験となった。また、同行した栃木地本部長の知見も向上することができた。今後の募集業務に活かしていく」としている。



F-15 特別記念塗装